

第17期

エコアクション21
環境経営レポート

自：2023年9月 1日
至：2024年8月31日
(発行日 2024年12月18日)



秋田マテリアル株式会社



目次

1.	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P1
2.	対象範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・	P4
3.	環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	P4
4.	環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・	P5
5.	環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・	P6
6.	環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・	P7
7.	環境経営計画の取組結果と評価ならびに次年度の取組・・・・・・・・	P8
8.	環境活動の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	P10
9.	環境関連法規等への違反・苦情等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・	P11
10.	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・	P11

1.組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

秋田マテリアル株式会社 代表取締役 三浦 力也

(2) 所在地

本 社 〒018-0403 秋田県にかほ市三森字高田20番地
TEL 0184-74-5277 FAX 0184-74-5278
ホームページ <http://akita-material.com/>

AKITA BASE 01 〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字深谷地16番地8

第2ヤード 〒018-0403 秋田県にかほ市三森字高田57番地1

(3) 事業概要

設立年月日 2007年9月

事業内容 再生資源(金属、プラスチック等)の回収、加工、販売
産業廃棄物の収集運搬 中間処理
古物商

(4) 事業規模

資本金	2,500万円
売上高	4億9760万円
従業員数	28名
敷地面積	AKITA BASE 01 7,943㎡ 本社 4,730㎡ 第2ヤード 6,414㎡
受託した 産業廃棄物の処理量	産業廃棄物収集運搬量 256.972t 産業廃棄物中間処理量 516.23t
主要設備	蛍光X線分析計1台 プレス機2台 破砕機1台 プラズマ切断機2台 アリゲーターシャー1台 ホイルローダー1台 トラックスケール2台(40 t) フォークリフト7台 バックホウ3台 湿式ナゲットプラント1台
収集運搬車両	8 t ヒアブ1台 4 t 平ボディ1台 3 t クレーンゲート1台 大型セルフクレーン1台

(5) 許可及び登録内容

許可証	区域	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処理業	秋田県	00525142130	令和5年6月14日	令和10年5月1日
産業廃棄物収集運搬業	秋田県	00505142130	令和6年1月4日	令和10年12月4日
古物商	秋田県	231160000245	平成25年7月11日	

産業廃棄物の種類、施設の種類	処理能力
破砕施設 (廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず ゴムくず、金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず)	2.624 t / 日
圧縮施設 (廃プラスチック類、金属くず)	7.68 t / 日

産業廃棄物収集運搬の許可品目
廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上6品目（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

(6) 産業廃棄物の処理工程図



(7) 組織図と実施体制

組織図

事業所名 秋田マテリアル株式会社



実施体制

代表取締役	・ 環境経営に関する統括責任
	・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境経営方針の策定・見直し
	・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・ 代表者による全体の評価と見直し、指示
	・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
	・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・ 環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境経営レポートの確認
環境委員会	・ 環境管理責任者の補佐
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・ 環境経営目標・環境経営計画の原案の作成
	・ 環境活動の実績集計
	・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
	・ 環境経営計画の審議
	・ 環境活動実績の確認、評価
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

2.対象範囲

全ての事業、すべての組織を認証・登録範囲とする。

3.環境経営方針

〈環境理念〉

秋田マテリアル株式会社は、リサイクル・産業廃棄物などの「環境事業」を行う企業として、企業の社会的責任を深く認識し、基本方針を定め、循環型社会形成に取組み、社会の持続的発展に貢献します。

〈基本方針〉

環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷を効果的に低減又は削減するために行動指針のもと、目標を定め、継続的改善を行います。

〈行動指針〉

1. 二酸化炭素排出量(軽油、ガソリン、電気等)の削減に努めます。
2. 自社の産業廃棄物、一般廃棄物の分別、リサイクルを徹底し排出量削減に努めます。
3. 節水を心がけ、排水量(水使用量)の削減に努めます。
4. 場内外美化緑化活動を積極的に行います。
5. 環境関連法規制や条例等を遵守します。

この環境方針は全従業員に周知するとともに、社外にも公表し、地域とのコミュニケーションを大切にしていきます。

制定日：平成28年 3月 3日

改訂日初版：令和 5年 6月16日

改訂日2版：令和 6年 9月 2日

秋田マテリアル株式会社

代表取締役 **三浦 力也**

4.環境経営目標

総量目標値より原単位目標値へ変更したため前期（14期）を基準年へ変更とする。

項 目	目標値		基準年実績 (第14期)	15期	16期	17期
	原単位		2020. 9～2021. 8	2021. 9～2022. 8	2022. 9～2023. 8	2023. 9～2024. 8
削減目標				-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	総量 目標値	121, 320	118, 941	117, 786	116, 654
	kg-CO ₂ /売上高（百万円）	原単位 目標値	326. 61	320. 21	317. 10	314. 05
軽油使用量（L）	軽油使用量（L）	総量 目標値	37, 293	36, 562	36, 207	35, 859
	軽油使用量（L）/ 売上高（百万円）	原単位 目標値	100. 40	98. 43	97. 47	96. 54
ガソリン使用量 （L）	ガソリン使用量 （L）	総量 目標値	1, 544	1, 514	1, 499	1, 485
	ガソリン使用量 （L）/売上高（百万 円）	原単位 目標値	4. 16	4. 08	4. 04	4. 00
電気使用量（kwh）	電気使用量（kwh）	総量 目標値	38, 587	37, 830	37, 463	37, 103
	電気使用量（kwh）/ 売上高（百万円）	原単位 目標値	103. 88	101. 85	100. 86	99. 89
灯油使用量（L）	灯油使用量（L）	総量 目標値	437	428	424	420
	灯油使用量（L）/ 売上高（百万円）	原単位 目標値	1. 18	1. 15	1. 14	1. 13
自社廃棄物の削減 （kg）	自社廃棄物の削減 （kg）	総量 目標値	230. 0	225	223	221
	自社廃棄物の削減 （kg）/売上高（百万 円）	原単位 目標値	0. 62	0. 61	0. 60	0. 60
水使用量削減（m ³ ）	水使用量削減（m ³ ）	総量 目標値	155	152	150	149
	水使用量削減（m ³ ）/ 売上高（百万円）	原単位 目標値	0. 42	0. 41	0. 41	0. 40
グリーン購入の推進			エコ商品8個	エコ商品10個	エコ商品12個	エコ商品14個
場内外美化緑化活動			草刈3回・季節毎場 内花植え・場外清掃 活動1回	草刈3回・季節毎場 内花植え・場外清 掃活動2回	草刈3回・季節毎場 内花植え・場外清 掃活動2回	草刈3回・季節毎場 内花植え・場外清 掃活動2回

* 電力の二酸化炭素排出係数はオノプロックスの0.527を使用

* 第14期 売上高 371,447,744

* 第15期 売上高 581,936,690

* 第16期 売上高 487,946,070

* 第17期 売上高 497,601,431

5.環境経営計画

項目	取組内容	スケジュール	責任者
軽油使用量削減 (トラック・重機・フォークリフト)	① 車両、整備点検表を用いて実施	随時	齊藤 慶介
	② タイヤの空気圧の点検を定期的に行う	年3回	齊藤 慶介
	③ アイドリングストップの実施	毎日	齊藤 慶介
	・台貫に乗るとき、車外作業時		齊藤 慶介
	④ 適切なエンジン回転数での作業を行う ・回転数の切替チェック ・高回転作業時エアコンOFF	毎日	齊藤 慶介
	⑤ 急発進・急加速をしない/早めの減速を行う	毎日	齊藤 慶介
	⑥ 効率的な運搬ルートを組む	毎日	齊藤 慶介
	⑦ バックホウの積込作業時は、旋回角度が小さくなるよう配置する	随時	齊藤 慶介
	⑧ フォークリフト運転時、空ぶかしやペダルの踏みっぱなし運転をしない	随時	齊藤 慶介
ガソリン使用量削減 (営業車)	⑨ タイヤ空気圧の点検を定期的に行う	年3回	猪股 聖悟
	⑩ アイドリングストップの実施	毎日	猪股 聖悟
	⑪ 急発進・急加速をしない/早めの減速を行う	毎日	猪股 聖悟
電気使用量削減	⑫ エアコンフィルターの清掃	17コン使用期間	鈴木 瑠美奈
	⑬ エアコンの設定温度を夏27度以上、冬21度以下とする	17コン使用期間	鈴木 瑠美奈
	⑭ 未使用機器のコンセントを抜く	毎日	鈴木 瑠美奈
	⑮ パソコン、プリンターを使用しない時は省エネモードに 切替える	毎日	鈴木 瑠美奈
	⑯ 業務終了時に配電盤のブレーカーを落とす	毎日	齊藤 慶介
	⑰ バッテリーフォークリフトの未使用時は電源をオフにする	毎日	齊藤 慶介
灯油使用量削減	⑱ 暖房は必要となきのみ使用し、消し忘れのないようにする	暖房使用期間	齊藤 慶介
自社廃棄物排出量の削減	⑲ 固形燃料の原材料となるように分別を徹底します	毎日	齊藤 慶介
水使用量削減	⑳ 蛇口の閉栓確認	毎日	木内 亮
	㉑ 手洗い、流し台、洗車時の節水	毎日	木内 亮
	㉒ トイレの節水（タンクの中にステンレスの重しをいれます）	毎日	木内 亮
	㉓ 3ヶ月に一度、漏水点検を行う	3ヶ月に一度	木内 亮
場内外美化緑化活動	㉔ 季節に応じた草花の植え替え、水やり	随時	齊藤 慶介
	㉕ 地域の清掃活動の実施	年2回	齊藤 慶介
教育訓練	㉖ 緊急事態を想定した訓練の実施	年1回	猪股 聖悟
	㉗ 全体会議での進行状況の報告	随時	猪股 聖悟
	㉘ 従業員でEAの勉強会を行う	年1回	猪股 聖悟

6.環境経営目標の実績

総量目標値より原単位目標値へ変更したため前期（14期）を基準年へ変更とする。

目標項目		基準値【14期】 (2020.9～2021.8)	【17期】 (2023.9～2024.8)		評価	実績の 削減数 (*1)
			目標値 (△3%)	実績値		
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	実績値	121,320.0	117,786.4	128,217.3	×	92%
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) /売上高 (百万円)	原単位	326.6	317.1	262.8	○	121%
軽油使用量 (L)	実績値	37,293.0	36,206.8	36,699.0	×	99%
軽油使用量 (L) /売上高 (百万円)	原単位	100.4	97.5	75.2	○	130%
ガソリン使用量 (L)	実績値	1,544.0	1,513.7	2,728.0	×	55%
ガソリン使用量 (L) /売上高 (百万円)	原単位	4.2	4.0	5.6	×	72%
電気使用量 (kwh)	実績値	38,587.0	37,463.1	46,790.0	×	80%
電気使用量 (kwh) /売上高 (百万円)	原単位	103.9	100.9	95.9	○	105%
灯油使用量 (L)	実績値	437.0	424.3	273.0	○	155%
灯油使用量 (L) /売上高 (百万円)	原単位	1.2	1.1	0.6	○	204%
自社廃棄物排出量 (kg)	実績値	230.0	223.3	350.0	×	64%
自社廃棄物排出量 (kg) /売上高 (百万円)	原単位	0.6	0.6	0.7	×	84%
水使用量 (m ³)	実績値	155.0	150.5	508.0	×	30%
水使用量削減 (m ³) /売上高 (百万円)	原単位	0.4	0.4	1.0	×	39%
グリーン購入の推進		エコ商品3個	エコ商品12個	エコ商品24個	○	達成できた
場内外美化緑化活動		草刈3回	草刈実施3回	草刈実施5回	△	活動できた が不十分
		季節毎場内花植え	季節毎場内花植え	季節毎場内花植え		
		場外清掃活動1回	場外清掃活動2回	場外清掃活動1回		

*1：実績の削減数は、目標値と実績値の対比

* 電力の二酸化炭素排出係数はオノプロックスの0.527を使用

* 第14期 売上高 371,447,744

* 第15期 売上高 581,936,690

* 第16期 売上高 487,946,070

* 第17期 売上高 497,601,431

7.環境経営計画の取組結果と評価ならびに次年度の取組

項目	取組内容	評価	取組結果コメント	次年度の取組内容
軽油使用量削減 (トラック・重機)	① 車両、整備点検表を用いて実施	○		取組継続
	② タイヤの空気圧の点検を定期的に行う	○		取組継続
	③ アイドリングストップの実施 台貫計量時、車外作業時	○		取組継続
	④ 適切なエンジン回転数での作業を行う ・回転数の切替チェック ・高回転作業時エアコンOFF	○		取組継続
	⑤ 急発進・急加速をしない 早めの減速を行う	○		取組継続
	⑥ 効率的な運搬ルートを組む	○		取組継続
	⑦ バックホウの積込作業時は、 旋回角度が小さくなるよう配置する	○		取組継続
	⑧ フォークリフト運転時、空ぶかしやペダルの踏みっぱなし運転をしない	○		取組継続
ガソリン使用量削減 (営業車)	⑨ タイヤ空気圧の点検を定期的に行う	○		取組継続
	⑩ アイドリングストップの実施	○		取組継続
	⑪ 急発進・急加速をしない 早めの減速を行う	○		取組継続
電気使用量削減	⑫ エアコンフィルターの清掃	○		取組継続
	⑬ エアコンの設定温度を夏27度以上、 冬21度以下とする	△	実施できなかった	取組継続 (設定温度の見直し)
	⑭ 未使用機器のコンセントを抜く	○		取組継続
	⑮ パソコン、プリンターを使用しない時は 省エネモードに 切替える	○		取組継続
	⑯ 業務終了時に配電盤のブレーカーを落とす	○		取組継続
	⑰ バッテリーフォークリフトの未使用時は 電源をオフにする	○		取組継続
灯油使用量削減	⑱ 暖房は必要なときのみ使用し、消し忘れないようにする	○		取組継続
自社廃棄物排出量の削減	⑲ 固形燃料の原材料となるように分別を徹底します	○		取組継続
水使用量削減	⑳ 蛇口の閉栓確認	○		取組継続
	㉑ 手洗い、流し台、洗車時の節水	○		取組継続
	㉒ トイレの節水（タンクの中にステンレスの重しをいれます）	△	実施できなかった	取組継続
	㉓ 3ヶ月に一度、漏水点検を行う	○		取組継続
グリーン購入の推進	㉔ 環境に配慮した商品の購入を推進	○		取組継続
	㉕ グリーン購入に関する知識を深めるため勉強会等の実施	○		取組継続
場内外美化緑化活動	㉖ 季節に応じた草花の植え替え、水やり	○		取組継続
	㉗ 地域の清掃活動の実施	○		取組継続
教育訓練	㉘ 緊急事態を想定した訓練の実施	○		取組継続
	㉙ 全体会議での進行状況の報告	×	実施できなかった	取組継続
	㉚ 従業員でEAの勉強会を行う	×	実施できなかった	取組継続

7.環境経営計画の取組結果と評価ならびに次年度の取組

項目		取組内容	スケジュール
二酸化炭素排出量の削減	軽油使用量削減 (トラック・重機)	① 車両、整備点検表を用いて実施	毎朝メンテナンス（15分）
		② タイヤの空気圧の点検を定期的に行う	毎朝メンテナンス（15分）
		③ アイドリングストップの実施 台貫計量時、車外作業時	毎日
		④ 適切なエンジン回転数での作業を行う ・回転数の切替チェック ・高回転作業時エアコンOFF	毎日
		⑤ 急発進・急加速をしない 早めの減速を行う	毎日
		⑥ 効率的な運搬ルートを組む	毎日
		⑦ バックホウの積込作業時は、 旋回角度が小さくなるよう配置する	随時
		⑧ フォークリフト運転時、空ぶかしやペダルの踏みっぱなし運転をしない	随時
	ガソリン使用量削減 (営業車)	⑨ タイヤ空気圧の点検を定期的に行う	毎朝メンテナンス（15分）
		⑩ アイドリングストップの実施	毎日
		⑪ 急発進・急加速をしない 早めの減速を行う	毎日
	電気使用量削減	⑫ エアコンフィルターの清掃	エアコン使用期間
		⑬ エアコンの設定温度を夏27度以上、 冬21度以下とする	エアコン使用期間
		⑭ 未使用機器のコンセントを抜く	毎日
		⑮ パソコン、プリンターを使用しない時は省エネモードに切替える	毎日
		⑯ 業務終了時に配電盤のブレーカーを落とす	毎回帰宅時（チェックリストあり）
		⑰ バッテリーフォークリフトの未使用時は電源をオフにする	毎日
	灯油使用量削減	⑱ 暖房は必要となすのみ使用し、 消し忘れのないようにする	暖房使用期間
自社廃棄物排出量の削減		⑲ 固形燃料の原材料となるように 分別を徹底します	毎日
水使用量削減	⑳ 蛇口の閉栓確認		毎回帰宅時（チェックリストあり）
	㉑ 手洗い、流し台、洗車時の節水		毎日
	㉒ トイレの節水（タンクの中に ステンレスの重しをいれます）		毎日
	㉓ 3ヶ月に一度、漏水点検を行う		3ヶ月に1回
グリーン購入の推進	㉔ 環境に配慮した商品の購入を推進		随時（物品注文時）
	㉕ グリーン購入に関する知識を深めるため勉強会の実施		随時
場内外美化緑化活動	㉖ 季節に応じた草花の植え替え、水やり		随時
	㉗ 地域の清掃活動の実施		9/20、3/28、5/30、7/31
教育訓練	㉘ 緊急事態を想定した訓練の実施		年1回 10/31
	㉙ 全体会議での進行状況の報告		随時
	㉚ 従業員でEAの勉強会を行う		年1回

8.環境活動の紹介

○2024年3月 場内ゴミ拾い



○2024年6月 避難訓練



○2024年8月 場内ゴミ拾い



○乗り合い



○持込



9.環境関連法規等への違反・苦情等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等御の有無

当事業が適用を受ける主な環境関連法規として、廃棄物処理法、消防法、浄化槽法、公害防止協定などがありますが、遵守確認を行った結果、環境関連法規について過去3年間に違反や行政指導はありませんでした。

法規制の名称	適用内容	条項（法律、規則、施行令）	確認内容	順守評価
産業廃棄物処理法	産業廃棄物の委託契約書の作成・管理	法12条の4	期限確認	○
	産業廃棄物のマニフェスト交付・保持・回収・保管の適正処理（5年間保管）	法12条の3、法12条の5、則8条の20、則8条の26～29	マニフェスト確認	○
	収集運搬業許可登録	法14条1項、6項	期限確認	○
	収集運搬業更新・変更届出	法14条の2	許可証確認	○
	帳簿の記載	法14条の15	記入漏れ確認	○
水質汚濁防止法	（油水分離施設）事故時（処置）の自治体（にかほ市）への連絡	法14条の2	事故なし	○
浄化槽法	定期検査：年1回、保守点検及び清掃：1回/3ヶ月を行う	法11条の則9、法10条の1、則5の2、則6	保守点検	○
消防法	消防法消防用設備等の設置・維持・点検の実施及び点検表の保管	法17条1項 法17条3の3	保守点検	○

(2) 外部からの苦情等の受付

取組期間中、周辺地域からの苦情はありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

17期は環境委員会メンバーでEAを推進し、社員の環境意識向上を特に考え行動していた。
社員の家庭から出る、紙くずや缶などのゴミを当社に持込み、日報に写真をアップしてリサイクルする取組がより多く見られた。
しかし今回の委員メンバーは比較的職歴の浅いメンバーだった為、受身の姿勢が多く見られた。

(2) 見直し

次回は環境委員会メンバーで目的・目標の設定をしっかり行い、スケジュールを前もって全体周知し、全社に月に一回アウトプットする。
また社員の健康に関しての取組も盛り込む。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり